

なるとの環境情報をお知らせします！

なると環境新聞

第4号

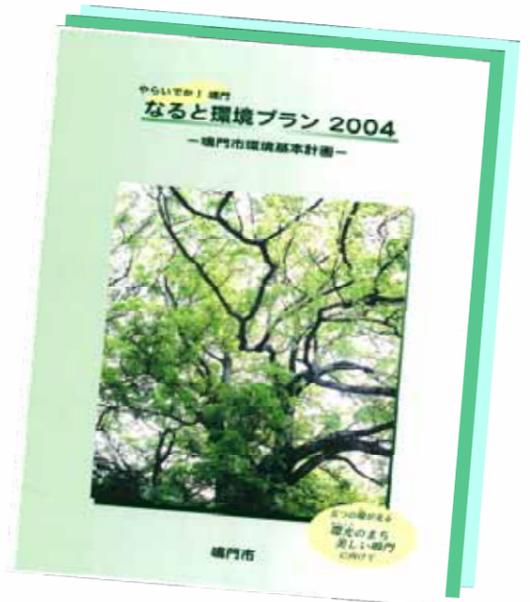
やらいでか！鳴門

『なると環境プラン2004 - 鳴門市環境基本計画 - 』

を策定しました！

平成14年度からアンケート、環境市民会議、環境審議会などを通じ、多くの方のご意見を伺いながら検討を進めてきた環境基本計画が策定されました。ここにその一部をお知らせします。

いよいよこれからが、鳴門市の環境づくりの本格的なスタートです！鳴門の素晴らしい環境を子どもたちに引きついでいくために、いっしょに「やらいでか！」



望ましい環境像

5つの環が光る 環光のまち・美しい鳴門

豊かな海・山・歴史・温かな心に出会えるまち
みんなで育み・伝える、美しきふるさと

多様で豊かな自然環境、長い歴史の中で自然をベースにはぐくまれてきた文化や暮らし、産業、人、もてなしの心といった多彩な環境資源を保全・再生・創出していきます。そして、それらの環境資源が、観光や地域コミュニティ活動、教育等を通じて結びつけられたまち、**5つの環**が光る「環光のまち・美しい鳴門」を望ましい環境像としてかけがえありません。



将来世代からの借り物である環境を次の世代に引き継いでいくために、われわれがすべきことは少なくありません。

5つの環

5つの環づくりをそれぞれに進めるとともに、環と環を結びつけ、ネットワークをはかることによって、さらに大きな環（持続可能性）の実現、キラリと光る美しい鳴門の環境を目指します。

人と自然の環

生存基盤である自然と、歴史と風土につちかわれた暮らしの調和をはかります。

人と人の環

教育・学習・参加・実践・協働による地域力の育成、コミュニケーションの充実をはかります。

自然の環 (生態系)

われわれの生存基盤である鳴門の自然生態系を保全・再生します。

ものの環 (物質循環)

ほどよい生活の実践による資源の保全、CO₂排出低減など低負荷社会を実現します。

観光の環

観光という視点を活かし、環境資源・人的資源・産業など地域資源を結びつけていきます。



取り組みの方針

50年先を視野に入れた目標である望ましい環境像の実現にむけて、3つの【基本方針】を示しています。そして、【基本方針】に基づく15の【個別目標】を掲げ、それぞれ【取り組み方針】、およそ8年後を目指して進める【取り組み施策】を示しています。

基本方針 1

まち全体を考え、全員参加による環境づくりを進める

環境づくりを実際の土地利用や都市計画の中においても具現化するとともに、環境づくりを進める人づくり、地域づくりを進めていきます。

- 環境づくりの枠組み・仕組み・体制を整備しよう
- 環境教育・環境学習を進めよう
- 参加・協働による環境づくりを進めよう



基本方針 2

生存基盤としての自然をまもり、活かす

人の生存基盤であり、鳴門市の貴重な財産である自然環境や生物多様性を保全し、自然と調和したまち、自然と調和した産業の実現を目指します。

- 豊かな海を守り育てよう
- 身近な水環境を再生しよう
- ふるさとの山を守ろう
- 農環境を持続的に守り、活用していこう
- 野生の生き物の生息環境を守り、共存をはかろう
- 美しい景観を守り、環境と調和した観光を育んでいこう



基本方針 3

環境と人にやさしい暮らし方、持続可能なまちづくりを進める

環境を守るために必要な意識やライフスタイル、社会システムの転換をはかります。また、人々が快適に暮らし、自らのふるさとに誇りを持って暮らし続けられる環境づくりを地球環境をも視野に入れながら進めます。

- ごみを出さない生活・事業活動への転換をはかろう
- 快適で潤いのある生活環境づくりを進めよう
- エネルギーを大切にしよう
- きれいで安全な環境を守ろう
- 化学物質による環境汚染を防止しよう
- 地域から地球環境保全に取り組もう

